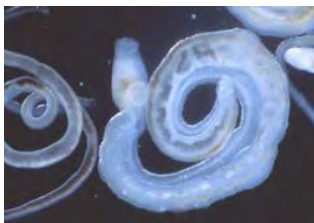


「顧みられない熱帯病」

- ・デング熱
- ・ハンセン病
- ・住血吸虫症
- ・フィラリア症
- ・シャーガス病等

熱帯地域、貧困層を中心に蔓延している
寄生虫、細菌感染症



特に途上国での被害が深刻



WHO: 特に影響が大きな17種のNTDへの対応強化を呼びかけ

撲滅可能だが、途上国では治療やケアが不足

保健・経済システムを圧迫

被害に苦しむ国々では対応に要する財源が大きく不足



熱帯病に苦しむ国の対応能力強化のための支援

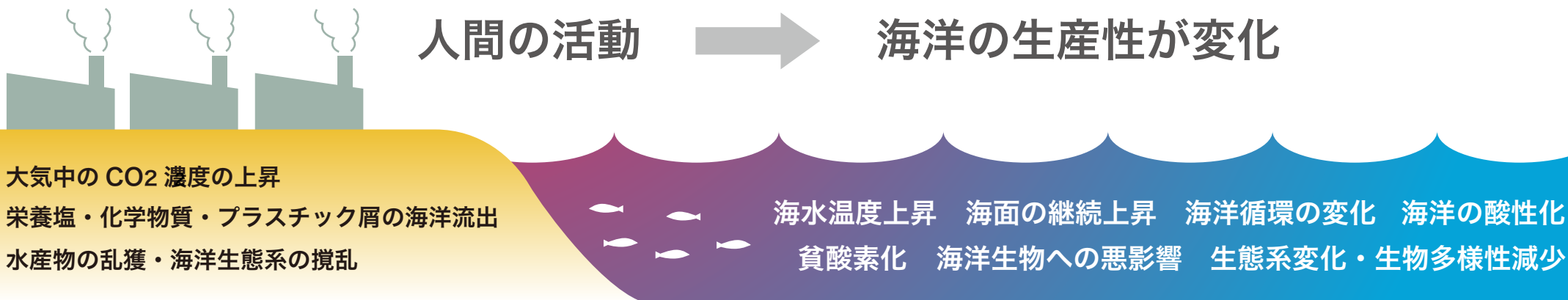
熱帯病研究の強化

低価格&アクセスしやすい治療法

持続可能な開発目標 (SDGs) に熱帯病を盛り込む

- ・ 日本は、国内の住血吸虫症の撲滅経験や、JICAの途上国支援、GHITファンド（グローバルヘルス関連基金）による医薬品開発研究活動などNTDに関連する研究開発力の点で世界をリード。
- ・ 世界に対し、この分野におけるリーダーシップを明確に示す。





国家レベルで
CO₂ 排出量の抑制

人為的な海洋汚染
の削減 / 規制強化

水産物の乱獲防止
科学的調査に
基づいた管理

国際科学協力の推進
海洋変化の緩和と
環境予測対策

- 海洋立国として、最先端の学術研究船を駆使し、アジア諸国と共に縁辺海の海洋環境保全、管理、人材育成を主導する科学技術外交を推進する。
- 海洋に関する国際機関の要職に若手人材を育成、派遣し、支援する体制を構築する。



G7 GERMANY

サミットへ科学的視点からの解決策を提言